

Really Clean?

クルマの「キレイ」って!?! なんだろう!?!

■ キレイに見えても……

今回モニターとなったAのレガシィB4は、購入して2年半が経過し、走行距離は約2万5000km。「子どもがいるので室内清掃は日頃から行っています。」そのため初見では、それほど汚れていないようで、ところがプロの目でチェックすると……。今回は新横浜店の新進気鋭の女性メカニック花坂 若葉が担当してくれることになりました。

■ シートの隙間からポテト?

シートの下や、シートとセンターコンソールの間は目の届かない場所で、そこはAも心配しているところです。そこで取材班が用意したマイクロスコープでのぞいてみると、干からびたフライドポテトを発見! ホコリも溜まっています……。すでにAの心が折れそうになっています。

■ ファイバースコープで見るとホコリだらけ



■ フロアマット、フロアカーペット

最初に指摘されたのはフロアカーペット。「靴の汚れが移りやすく、乗り降りして起毛していた表面の繊維がつぶれています。なるほど、これでは普通の掃除機ではなかなか吸い出すことはできませんね。」

■ 実はこんなに「まっくら」!?! ウソですよ?

次はシート。「へこんだ部分や縫い目などの繊維にホコリや髪の毛が絡むと掃除機では取りにくくなります」とのこと。乗り降りしてホコリが繊維の奥に押し込まれると、掃除機では取れなくなってしまい、さらにダニが発生なんてことも……。シートの汚れをサンプリング。アップにした画像を見たAは愕然! 「こんなにも「まっくら」だったんですね〜」



新車時は引き締まった黒だったフロアマットが白っぽく見えます。これは繊維内に蓄積した汚れのせい。



繊維がつぶれてしまい汚れが閉じ込められています。強力な吸引力の掃除機でも吸い出せないガンコな汚れ。



Get Out Here!

吸ってもダメなら「タタキ出せ!」

「強力な吸引力でもダメなのに」と途方に暮れていたA。そこにスプレーガンのような機材が持ち込まれたのですが「業務用で吸ってもダメなんでしょ?」とAは疑いの眼差しを向けています。「これは吸わずに先端からバルスエアーという空気を吹き付けて汚れを叩き出すブラシガンという新機材です。これで清掃の下準備をするのが神奈川スバルの新サービス「ルームリフレッシュクリーニング」なんです!」とメカニックがついに秘密兵器を登場させた!

■ 絡まり、かくれた汚れは吸えない! だからコレ!

吹き出しノズルが回転し、連続的にエアーストームを発生させます。

も汚れをの

追いついて
追い越すって。



ブラシガンの中にあるバルスエアーの吹き出しホースはフレキシブルに動き、先端が円を描くようになっていきます。これを天井から下へと吹き付けて汚れを叩き出します。

シート座面の縫い目やシート下のすき間にブラシガンのノズルを当てて、繊維の奥に入り込んだホコリを空気で叩き出します。奥まったところの汚れを表に叩き出します。

ブラシガンのエアーストームは脈動があり、一定で吹き付けられているのではなく、手を当てると叩かれているような感じでした。つまり布団たたきのように叩き出しているのです。

■ 汚れを浮かせて吹き飛ばす

いちばん頑固に汚れが潜り込んでいるフロアマットやフロアにもバルスエアーは有効です。数回繰り返すと、かなりのホコリがでてきます。



フロアマットにブラシガンを吹き付けて出てくるホコリの量がビックリ。潜り込んだ汚れを飛ばした後はマット専用洗剤を噴霧してからシミなどの汚れを落とします。

カーペットもブラシガンを吹き付けて汚れを繊維の中から叩き出します。こんなに汚れが集まりました。

あれだけ掃除していたのにプロにかかるとホコリがこんなにあるなんて。じゃあ一網打尽をお願いします。

えっ、そうなの!?!
スバル車の清掃には自信があります。